

令和 4（2022）年度学校法人福岡大学事業計画



学校法人福岡大学では、令和 16（2034）年の福岡大学創立 100 周年に向けた将来像を掲げ、その実現に向け、これからの 15 年間で 3 期に分けたうえで、令和 2（2020）年からの 5 か年の行動計画として、「学校法人福岡大学中長期計画（第 1 期 2020-2024）」を策定しました。この第 1 期中長期計画では、「教育」「研究」「医療」「地域連携・社会貢献」「組織改革・人事制度・財政基盤・施設整備」の 5 つの重点項目（分野）について、本法人としての目標及び推進項目を設定し、従来から取り組んできた単年度ごとの事業計画と連動させることにより、確実に計画を推進しているところです。

令和 4 年度学校法人福岡大学事業計画では、少子化、グローバル化、AI 技術の急速な進展等に伴う高等教育機関を取り巻く環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による生活や価値観の劇的な変容を受け、ウィズコロナを見据えた事業の在り方を再検討、再構築するという観点を含めて、重点的に取り組む内容を掲げました。

具体的には、「共通教育科目「データサイエンス・AI 入門」の設置」「研究者等の研究活動に係る支援体制の整備」「病院経営基盤の強化」「多様な人材が活躍できる環境の整備」「既存施設を有効活用するための改修工事の実施」等、中長期計画に掲げる 5 つの分野ごとに取り組む項目を掲げています（詳しくは次頁以降をご覧ください）。

現在、本法人ではスローガンとして「Rise with us」を掲げ、学生・生徒、教職員、卒業生そして地域社会が一体となって連動・拍動し、開かれた自由闊達な議論を通して共に成長・発展することで、我々の使命である、時代に即応しグローバルに貢献する教育・研究・医療の提供を目指しています。

目指すべき法人像に向けて、建学の精神に基づき、教職員が一丸となり、この事業計画を着実に実行するとともに、オールド福大レジームから脱却し、「ニュー福大」の基盤構築を推し進めていくことで、教育・研究・医療を通じた社会貢献に寄与するよう邁進してまいります。

Fukuoka University's Five Ss

Steady

Sensible

Sincere and Strong

Spirited

主な取組項目

1. 教育

(1) 大学

- ・ 共通教育科目「データサイエンス・AI 入門」の設置
- ・ 共通教育に係るカリキュラムの再構築
- ・ 奨学金制度の見直しに伴う効果の検証
- ・ 障がい学生支援に向けたピアサポート体制の構築及び合理的配慮手続きの再構築
- ・ スポーツブランド力向上に係る戦略の策定及びスポーツ強化に向けた支援体制の整備
- ・ 海外大学等との交流促進
- ・ 大学院の留学生増加に向けた募集活動の強化
- ・ オンラインツール等を活用した市民カレッジ講座の開講及び実施体制の見直し
- ・ 第3期認証評価の受審及び効果的かつ合理的な自己点検・評価の実施
- ・ 対面とオンラインを組み合わせた就職支援体制の充実
- ・ 図書館施設の利用促進に向けた環境整備

(2) 附属学校

① 附属学校共通

- ・ 教員の ICT 活用能力の向上
- ・ グローバル教育の実施

② 大濠中学・高等学校

- ・ キャリア教育の推進
- ・ 教育環境（施設・設備）の充実

③ 若葉高等学校

- ・ 「新教育ビジョン」の検証と改革の推進
- ・ 教員の進路指導力向上に向けた研修の実施

2. 研究

- ・ 研究者等の研究活動に係る支援体制の整備
- ・ 研究倫理・研究コンプライアンス推進体制と啓発活動の強化
- ・ 安全保障輸出管理に係る実施体制の強化
- ・ 研究ブランディング事業「カーボンニュートラル推進プロジェクト」の体制整備
- ・ 大学等発ベンチャー支援制度の整備

3. 医療

(1) 医療施設共通

- ・ 病院経営基盤の強化

(2) 福岡大学病院

- ・ 将来計画の策定・推進
- ・ 先進の高度医療を実現する新本館の建設
- ・ 特定機能病院としての高度医療の提供
- ・ 地域医療への貢献
- ・ 医師の働き方改革への対応

(3) 福岡大学筑紫病院

- ・ 将来計画の推進
- ・ 医師の働き方改革に関連した労働環境の整備

(4) 福岡大学西新病院

- ・ 将来構想の策定
- ・ 医師を含めた全職員の働き方改革への対応
- ・ 地域ニーズに基づく医療機能の充実

4. 地域連携・社会貢献

- ・ 「福岡未来創造プラットフォーム中長期計画 2019-2023」に基づく産学官連携・交流の促進

5. 組織改革・施設整備・財政基盤・人事制度

- ・ 感染症等に対応した BCP の策定
- ・ 職員の長時間労働の縮減と柔軟な働き方の推進
- ・ 多様な人材が活躍できる環境の整備
- ・ 将来を見据えたブランドイメージの形成
- ・ 収支バランスの適正化及び奨学基金の拡充
- ・ 寄付金事業の強化
- ・ 新築建物の工事監理
- ・ 既存施設を有効活用するための改修工事の実施
- ・ 耐震対策の設計
- ・ バリアフリー化工事の実施
- ・ 情報化推進ロードマップ 2025 の策定・推進